

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式				
		研究室配属 (Practical Research Experience Program : PREP)					研究科目	対面				
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態				
必修		2	医学部先進医療科学科	後期	木5	日本語	英語	複数(共同)				
担当教員	氏名 全教員 E-mail 内線											
授業の概要	研究活動に従事している医師・研究者から早期に研究指導を受けることにより、研究の重要性・醍醐味を知り、研究的探究心(リサーチマインド)を育むことを目的とする。また、将来の科学研究を担う融合人材、且つ研究チームの一員として協調的な学修環境の中で問題解決能力を高め、幅広い研究領域に対する学修意欲の向上につなげる。研究室配属は、研究活動における基礎的な内容(研究倫理、基本的な実験技術、論文検索・講読方法等)について学修し、研究室配属への基盤科目とする。											
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)						
目標1	研究倫理(各々の研究に対する倫理指針と法律)を理解する。											
目標2	研究は、科学の発展や患者の利益増進を目的としていることを説明できる。											
目標3	講義・教科書・論文等の内容から、重要事項や問題点を抽出できる。											
目標4	得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理することができる。											
目標5	講義・実習で得た知識をもとに、実験や解析ができる。											
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
各DPへの関連度(計10)						3	2	2	1	1	1	
授業の内容												
1	・特定の研究テーマに焦点を絞り、それを扱う研究室で実際の研究活動に従事し経験を深める。											
2	・様々な研究テーマの存在について知り、それらのテーマを説明するための方法論を実践することを通して、発見の喜び、研究者の苦悩、研究者間の交流や情報交換などに直接触れる機会を持つ。											
4	・研究室で行われている研究・実験の補佐から共同研究者としての活動、実験やフィールドで得られたデータの処理や解析などを指導教員や											
5	大学院生とともに行う。											
6	・「研究室配属」の期間終了後、成果をレポートにて提出する。											
7	・研究室配属実行委員会を学生から選出し、配属先の決定等の企画運営を含め、専任教員の指導を仰ぎながら全て学生主導で行う。											
8	・将来の学会運営と発表のシミュレーションを行うことも目的とする。											
9	[研究成果のレポート提出]											
10	1. 報告書											
11	指導教員の指示に従い、期間内(先行配属期間も含む)に実施した内容をまとめる(下記参照)。											
12	また、報告書の作成に当たっては、実施内容を実習参加学生にも理解できるよう努める。このことで学生の研究実施分野以外の領域への理解を深め、今後の											
13	学習意欲の向上を図る。											
14	(例)「課題解決研究」のまとめ方											
15	目的(研究背景)、方法、結果(図表を含めてもよい)、考察、(必要であれば)参考文献といった一般的な論文形式でまとめることとする。											
ラ ア ク ニ テ イ グ ブ	A:知識の定着・確認	A:研究プロセスを繰り返し復習する。					工 夫 の 他 の	・グループワークや口頭発表を行い、研究計画や結果について他の学生や教員と意見を交換する。 ・担当教員と研究結果の実践応用について議論する。				
	B:意見の表現・交換	B:同じ領域の学生や教員との意見交換を行う。										
	C:応用志向	:研究実践活動、レポート作成										
	D:知識の活用・創造											
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修	文献検索に慣れる。原著論文などさまざまな形式の論文を読む。(34h)。										
	事後学修	研究結果について、他の学生や教員と議論する。(34h)。										
	想定時間合計	68										
教科書	なし											
参考書	なし											

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	研究への取り組み方	20%										
	レポート提出	80%										
注意事項												
備考												
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の実務 経験	医師、臨床検査技師、臨床工学技士											
教員以外で 指導に関わ る実務経験 者の有無												
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	医師、臨床検査技師、臨床工学技士											
実務経験を いかした教 育内容	医師・臨床検査技師・臨床工学技士・研究者としての経験から課題を抽出し、研究の方法や進め方、結果の解釈および考察の仕方の実際についての学習を支援する。											